

大分県女性活躍プログラム
Gateway
 大分県で活躍する
 女性たちをシリーズで紹介

大分県
女性活躍推進宣言企業
ロールモデル紹介



**制度やサポートによって
 キャリアアップを実現**

有限会社ファン工業

製造部製造課一係三班
 えんどう ひろみ
遠藤 宏美さん

臼杵市出身。平成26年(2014年)5月に中途入社。社内コミュニケーションを大切にしながら、誰もが楽しく仕事ができる職場づくりに意識的に取り組んでいる。休日の楽しみは、友人とのドライブや一人旅。

有限会社ファン工業 所在地 大分市屋山300 主な事業内容 製造業 従業員数 117名(男性31名/女性86名)

**お互いにサポートし合い
 安心して働ける職場環境**

トイレ、お風呂、キッチンなどの水回り用品に使われる部品を製造する「有限会社ファン工業」は、1998年9月に創業。工場の中で、主にフラッシュバルブ(便器に流れる水量を調整する機器)を製造するチームの班長として活躍している遠藤さんは、転職して同社へ入社しました。以前は全く異なる業界で働いていた遠藤さん。「全然知らない業界なので、続けられるかな...という不安はありましたが、知らないからこそ楽しめるんじゃないかと思っただけで入社を決めました。その言葉どおり、笑顔で生き生きと働く姿が印象的です。

同社では社員の約7割が女性。その理由として、「産前産後・育児休暇の取得率は100%、復帰後は都合に合わせて時短勤務ができることもあり、ほとんどの社員が退職することなく、長く働いてくれています」と、常務執行役員 川内野英彦さん。仕事と家庭の両立が無理なくできる制度だけに限らず、同じ経験をしてきた女性が多いこともあり、「困ったときはお互いさまの精神が社風として息づいています。イクボス宣言、健康経営優良事業所認定、厚生労働大臣奨励賞受賞など、働きやすい環境の整備に積極的に取り組んできた結果が、

「離職率の低下」へとつながっているようです。

**入社からの積み重ねで
 班員をまとめる「班長」へ**

業務ごとにチームとして7つの班にわかれていて、遠藤さんは三班の班長になって今年で2年目。川内野さんが「周りを見る力やコミュニケーション能力が、班長として推した理由です」と言うように、遠藤さんが持つ潜在的な能力をさらに高めたのは、入社からこれまでの経験にあります。

「最初に配属された部署の上司が、いい意味で放任で(笑)。自由な発想で仕事ができると、考える力も身につきました」と遠藤さん。仕事を覚えることはもちろん、業務を円滑に進めるために、仲間たちと上手にコミュニケーションをとりながら知識や技術を習得。その後もさまざまな部署を経験したことで、会社全体を見られる「視野の広さ」も自然と身についたようです。現在は19人の班員をまとめる班長として、スケジュール管理や部品調達など全体を把握しながら、「せっかくなら仕事を楽しみたい」と、雰囲気づくりに積極的に取り組んでいるという意識は、会社全体にも良い影響をもたらしているようです。



**尊敬する上司、頼れる仲間
 目標とする存在が近くに**

「人に恵まれていたからこそ、ここまで成長できました」と話す遠藤さん。自身も高い目標を持って積極的な仕事に取り組んでいる理由のひとつが、女性上司の存在です。「意見を話さず言えるところが本音かっこよくて尊敬しているし、目標です」と話す遠藤さんに対し、「今の遠藤さんのままで大丈夫。変わらないうちにほしい」と女性上司も今後の活躍にエールを送ります。

同社では以前から採用や昇進に男女の差はなく、誰もが長く働ける職場環境が整っていますが、「同じ女性だから

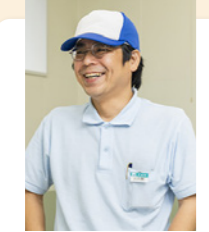
こそ話せることもあるし、目指したいと思える存在が近くにいて心強い」と笑顔の遠藤さん。人をまとめる立場としての悩みもあるといいますが、それは責任感ゆえのこと。「任される立場になるとときどきの女性がひるむと思いますが、踏み出してみるときさまな発見や経験ができ、人生においてプラスに作用することも多いです。思い切ってチャレンジすることも大切と感じています。帰りの車の中では「今日も私、がんばった!」と毎日自分を褒めています」と、働く女性に向けてのひと言が印象的でした。



↑若手からベテランまで19人が所属する三班のみなさんと一緒に。撮影中も笑顔が絶えず和気あいあいな雰囲気、日頃のチームワークがうかがえる。

**My way
 わが社の取り組み**

課題	方法	成果
管理的立場に就くことを遠慮する女性が多い	職位を段階的に踏める「指導員」を導入	ステップアップがスムーズにできる環境に
社員は女性の割合が多く、会社としても女性の役職者を増やしたいという思いがあったが、職位に就くことを避ける人が多かった。	班員から班長へと一足飛びに職位を担うのではなく、間に「指導員」という職位を導入。班長の元で指導的立場になるための意識を高める期間を設けた。	指導員の導入によって、女性の指導員や班長が増え、女性の役職者も少しずつ増加は始めている。



常務執行役員
 川内野 英彦さん

遠藤さんは、人間関係を円滑に調整できる人です。班長として人をまとめる立場になってからは新たな悩みも増えたと思いますが、班員一人ひとりに向き合いながらしっかりと統括してくれています。



川内野さんをはじめ職場のみなさんのおかげでがんばれています。日々サポートいただきありがとうございます!

それぞれへ感謝のメッセージ

Message

細やかな部分まで気づける人。若手代表として会社を牽引してください! まだまだできる人だと期待しています。



Will be
 産休育休中の女性、復帰した女性向け

育休・復帰セミナー
 パートナーの参加もOK
 完全オンライン

育休から復帰後にかかえる両立の不安、ママ・パパ・企業の立場を理解し、ストレスなく復帰できるための「育休復帰&両立支援セミナー」

①育休セミナー
 ~育休中にできること~
 参加対象者:産休育休中(予定者含む)、妊活中の人、そのパートナー

②復帰セミナー
 ~仕事と育児の両立~
 参加対象者:復帰後(予定者含む)、妊活中の人、そのパートナー

③育休後カフェ@大分
 ~思い込みをなくしてみたら~
 参加対象者:●または●に参加した人

Will beサイト
 Gate wayサイト

申し込み
 日程 ①2024年1/16(火) ②1/25(木) ③2/1(木) 9:30~12:00
 参加方法 オンライン参加(Zoom)各回定員25名 参加費 無料 申込締切 各開催日の1週間前
 問合せ Will be事務局(ニッコン株式会社) TEL.097-533-2299(担当 古川・佐藤)